



2014

活用事例集

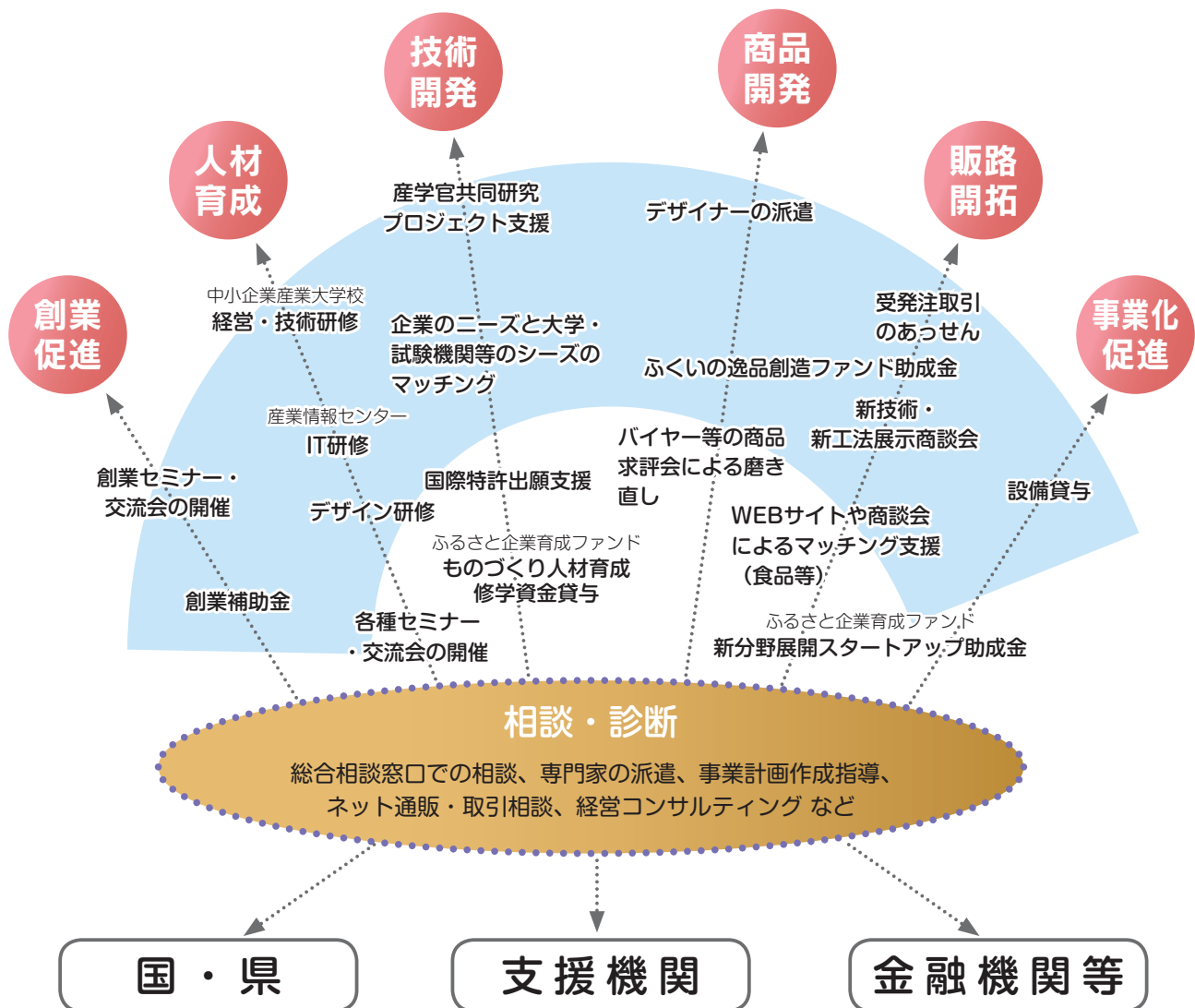
fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター
Fukui Industrial Support Center

頑張る企業の皆さんの意欲的な取組みを支援します。

ふくい産業支援センターのご紹介

- 本県の中核的支援機関として、他の支援機関等と連携しながら、企業の経営課題に対応した支援を行います。
商工会議所・商工会、中小企業団体中央会、福井県工業技術センターほか、県内金融機関、各種業界などと連携しながら事業を行っています。
- 地域や会員等の区別なく、県内で事業を営まれる方ならどなたでもご利用いただけます。
- 県内外の専門家や職員が有する技術、デザイン、IT等の専門機能を活用して、創業から人材育成、技術開発、商品開発、販路開拓などを総合的にサポートします。

主な支援事業の全体像



目次 contents

事例1	株式会社谷口工務店	新分野展開スタートアップ支援	1
事例2	福井小松フォークリフト株式会社	新分野展開スタートアップ支援	2
事例3	有限会社街の牛乳屋さん	新分野展開スタートアップ支援	2
事例4	Jewe.La (ジュエラ) 株式会社	ふくいの逸品創造ファンド	3
事例5	若越印刷株式会社	ふくいの逸品創造ファンド	3
事例6	株式会社西村金属	ふくいの逸品創造ファンド	3
事例7	みくに園	ふくいの逸品創造ファンド	4
事例8	有限会社ヤマグチ食品	ふくいの逸品創造ファンド	4
事例9	株式会社横井商店	ふくいの逸品創造ファンド	4
事例10	株式会社ユメロン黒川	デザイナー派遣 (デザイン支援)	5
事例11	越前焼工業協同組合 酒器開発グループ	グループカウンセリング (デザイン支援)	6
事例12	株式会社シーウェーブ	新技術・新工法展示商談会	7
事例13	松文産業株式会社	戦略的基盤技術高度化支援事業	8
事例14	勝ち山Bokkake連盟	企業診断・コンサルティング	9
事例15	株式会社ケア・フレンズ	経営革新計画承認支援	10
事例16	樹ごころ工房	ネット通販・取引支援センター	11
事例17	LOCCIO (ロクシオ)	福井県産業情報センター 入居施設	12
事例18	コルネ株式会社	福井県産業情報センター 入居施設	12
事例19	株式会社ふじや食品	福井県中小企業産業大学校 施設	13

事業の紹介

◆ ふるさと企業育成ファンド (新分野展開スタートアップ支援)	14
◆ ふくいの逸品創造ファンド	15
◆ デザイナー派遣 (デザイン支援)	16
◆ 新技術・新工法展示商談会	17
◆ 企業診断・コンサルティング	18
◆ ネット通販・取引支援センター	19
◆ 福井県中小企業産業大学校 施設	20
◆ グループカウンセリング (デザイン支援)	16
◆ 戦略的基盤技術高度化支援事業	17
◆ 経営革新承認支援	18
◆ 福井県産業情報センター 入居施設	19
◆ オーダーメイド研修	20

廃瓦を再生利用したエコブロック の開発・製造・販売を支援

株式会社谷口工務店

代表者名 谷口 照司
所在地 美浜町
業種 一般土木建築工事業
事業内容 工務店、ブロック製造業

事業を活用した経緯等

同社は大正2年に創業した地域密着型建築業の会社で、地場住宅および官公庁からの発注を受けている。昨今の景気低迷の影響もあり、売上は減少しており、その対策として、産業廃棄物業者の認可を受け、リサイクル事業部門を設立した。

産業廃棄物として廃瓦が大量に持ち込まれることに注目、瓦の風合いや色味を活かすブロック原料としての再利用・再活用の検討に着手した。

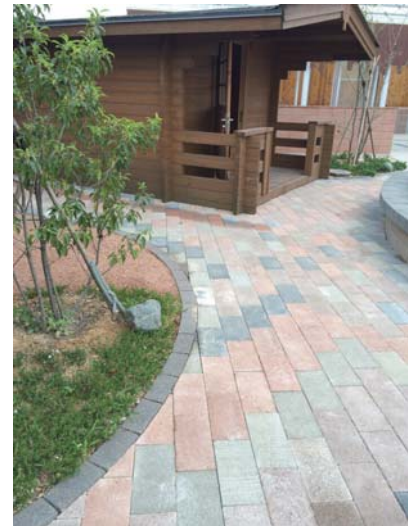
商品化にあたり、軽量化のためサイズダウンを行ったことから、専用の穴あけ加工も可能な製造マシンが必要となり、「新分野展開スタートアップ支援助成金」を利用した。



活用内容

ブロックを固めるための金型を自作し、プロトタイプの独自サイズ版を手作り・手洗浄で試作。

その後、スタートアップ支援事業の採択を受けて、粉碎された廃瓦を原料とするブロック製造マシンを導入。また、実際に質感を見ていただけるように、ショースペースも整備している。ノウハウを蓄積することで自動製造の見通しがつきつつある。



◆利用された企業からの声



代表取締役 谷口 照司 氏

気温等との微妙な調整、生産・工程管理等が非常に難しく、ノウハウ取得中。ブロック製造マシン導入後の初生産試作から4ヶ月の試行錯誤を経て、ようやく市販可能な状態に至ることができ、事業化の見通しも立ちつつある。

新ブロックのできあがり、多くの人に製品として見てほしいと考え、スタートアップ支援事業を活用して、ブロックを使用した展示場を建設中である。

労働災害防止につながる接触事故回避支援システムの開発・販売をサポート

福井小松フォークリフト株式会社

代表者名 佐野 俊和
所在地 福井市
業 種 輸送用機械器具卸売業
事業内容 フォークリフトを含む産業車両、物流機器の販売、レンタルおよび修理

事業を活用した経緯等

フォークリフト等の販売・修理を中心に行う同社は、危険回避のセンサーなどを用いた接触事故回避支援システム「ウエルガード」を開発し、販売開始。近年上場企業を中心に、労働災害防止への関心が急速に高まっており、好評を博している。さらにさまざまな機器への製品展開を目指し、「新分野展開スタートアップ支援助成金」を活用して販路拡大を図った。

活用内容

助成を受けて、新聞・業界誌への広告、業界関係ホームページへのバナー広告、カタログ制作などを実施。同社システムの認知度向上、売上の増加につなげている。



「街の牛乳屋さん」から「街の牛乳屋さんが薦める暮らしのご提案」への展開

有限会社街の牛乳屋さん

代表者名 岩田 良治
所在地 坂井市
業 種 各種食品小売業
事業内容 牛乳、その他食品宅配サービス

事業を活用した経緯等

「消費者の健康への高まり」、「共働き家庭の増加」、「核家族・少人数世帯の増加」、「買い物や調理が困難な高齢者人口の増加」という社会状況を背景にネットスーパー等宅配への需要が高くなってきている。本県においても高齢者の増加、共働き夫婦が増加してきており、同社では牛乳の宅配という特長を活かし、顧客に対してきめ細かい新サービスを行うことで、高齢者や共働き夫婦の一助となればという思いもあり、新事業をスタートした。



活用内容

「新分野展開スタートアップ支援助成金」を活用し、宅配通い箱の開発、オリジナルブランド宅配商品の開発、商品カタログの製作、自社認知度の向上等に取り組んでいる。今後は、確立した宅配ルートを使い県内の企業、商店等の商品も販売していく計画。

また、高等学校の長期インターンシップを利用し、地元の食材等を使用した商品開発を行っていく予定である。



“地域資源”を活用した新商品開発・販路開拓の経費の一部を助成

事例
4

食卓に笑顔を。 「STICK PIERCE」でキラキラと笑顔の花が咲く食卓に

特徴・機能

STICK PIERCE®は、「食卓を笑顔に」を合い言葉に、福井の伝統工芸の「越前漆器」のお箸に、鯖江の眼鏡技術を応用した独自加工をほどこし、イヤホンピアスを自由に「着せ替え」可能にした世界初のお箸です。ぜひご家族で、恋人同士で、大切な仲間達で、自分達の「マイ箸」をSTICK PIERCE®で選んでみてください。ピアスをつける箸上部に加工した穴には、鯖江の眼鏡加工技術を活かしたパーツを取り付けて腐食しないお箸を実現しています。

活用した地域資源 越前漆器（塗り箸）、眼鏡パーツ加工技術



記念日にご贈答用に。普段の食卓に、お箸もピアスを楽しみたい。

Jewe.La(ジュエラ)株式会社

代表者名 鈴木 洋
所在地 鯖江市
業 種 製造業
事業内容 アクセサリー・雑貨製造・販売

事例
5

越前和紙(すかし技術)を利用したメモ・キューブ 「ドキドキ 発掘メモ」

特徴・機能

越前和紙の色合いと細やかな透かし技術を活かしたメモ・ブロック「ドキドキ 発掘メモ」。すかし技術で1枚1枚に、三葉虫やアンモナイトなどの化石をすきこんでいる。またメモを使っていく途中で、フクイラブトルやティラノサウルスなど6種類の「切り抜き」が表れる仕掛けも加えており、恐竜アクセントの注目度の高い伝言メモとしても使用できる。福井県立恐竜博物館で発売中。

活用した地域資源 越前和紙、越前和紙すかし技術



若越印刷株式会社

代表者名 徳本 泰弘
所在地 敦賀市
業 種 印刷業
事業内容 各種印刷

事例
6

薄さ2mmの老眼鏡 超薄型リーディンググラス それが「ペーパーグラス」

特徴・機能

『智(ヨロイ)を水平軸に対して下斜め約20°傾ける』という一つの解決策で、折りたたむと平板に、そして、開いた時は、顔にフィットするカーブを描きます。限りなく平板にする事で、携帯性と使い勝手の良さ、堅牢性を実現しました。

2013年度グッドデザイン賞 ベスト100『ものづくりデザイン賞(中小企業庁長官賞)』を受賞。

活用した地域資源 眼鏡製品・部品加工(チタン加工)

薄さ2mmの老眼鏡
それが「ペーパーグラス」。



所有している感覚が眼鏡ではない。これは読む、見る、書くための文房具。

株式会社西村金属

代表者名 西村 憲治
所在地 鯖江市
業 種 製造業
事業内容 眼鏡部品製造販売その他精密部品加工

事例7

心をもてなす、一服の盆栽。 目指したのは、いまの暮らしに溶け込む盆栽

特徴・機能

誠意を尽くして客人をもてなす茶事のごとく、日展作家と盆栽デザイナーが、一つの盆栽のために、鉢や土にまでこだわってつくった「Re:BON BONSAI」。これまでの堅苦しい盆栽の概念にとらわれず、部屋のインテリアとして自由にお楽しみいただけます。「土」は、越前焼のセラミックの特徴を活かした新開発の土です。保水力に優れ、与えられた水は土に吸収されてから浄化され、そして植木に吸収されます。

活用した地域資源 越前焼



みに園

代表者名 下村 貞行
所在地 坂井市
業種 小売業
事業内容 盆栽および関連資材の販売

事例8

初めて食べるお豆腐のカタチ。「でぎ〜と〜ふ」 お豆腐+フルーツ(トマト)のビューテースイーツ

特徴・機能

福井県産大豆100%を使用し、凝固剤にゼラチンを用い舌触りを滑らかにした豆腐に、福井県敦賀東浦産みかんのゼリーや、福井県産高糖度トマトのゼリーをかけることで、午後3時のおやつとして手軽に召し上がることができるデザート豆腐といたしました。

活用した地域資源 福井県産みかん、福井県産とまと



有限会社ヤマグチ食品

代表者名 佐津間 正志
所在地 美浜町
業種 食料品製造業
事業内容 豆腐油揚、菓子製造

事例9

福井県産コシヒカリ、六条大麦などを チョコレートコーティングした「横井チョコレート」

特徴・機能

福井県産のコシヒカリ、福井梅、棗、大豆、らっきょう、六条大麦を使ったチョコレートコーティング菓子「横井チョコレート」。

福井県産食材をふかしたり、酒に漬け込んだりしたものに、「クーベルチュール」と呼ばれる、植物油を一切使わない高級チョコレート材料を使用してコーティングしている。口溶けが良く、贈答用としても利用できるクオリティの高い商品。

活用した地域資源 福井米（コシヒカリ）、福井梅、棗、大豆、らっきょう、六条大麦



株式会社横井商店

代表者名 横井 孝治
所在地 福井市
業種 食料卸売業
事業内容 菓子の卸・小売

デザイナーの支援を受けて 実店舗向け商品にチャレンジ

株式会社ユメロン黒川

代表者名 黒川 裕文
所在地 越前市
業種 繊維
事業内容 介護・健康雑貨製造卸

事業を活用した経緯等

同社はこれまで、主力繊維である蓄熱性に優れた繊維（オーラ繊維）を応用した商品を、テレビショッピング・大手通販・生協等向け商品として販売することを得意とし、機能性とコストパフォーマンス重視により簡易パッケージで商品づくりを行ってきた。しかし、小売店舗販売業者の要請等により「パッケージさえ良ければ実店舗で取扱いできるのに…」という声が高くなってきた。

そこで、デザイン専門家の指導を受けるためデザイナー派遣事業を利用することとなった。

活用内容

ブランディング構築のために、最初に「商品の把握と分析」を行い、

1. 製品の機能を利点とする「機能的ベネフィット」、
2. 安心感や使用感といった人の感情に訴える「情緒的ベネフィット」の2つを柱にする事とした。

続いて「ターゲットの確立」、「商品構成およびパッケージ形状と予算」を検討し、商品が見える「一目でわかる商品」クリアケースを導入。中台紙のみを変える事で、商品カラーバリエーションも可能となるよう、在庫単位を最小限に押さえる工夫を行った。

さらに、ユーザーにわかりやすく、親しみのあるネーミングを決定した他、販促活動における、アプローチ手法などの運営方針を検討し、一連の開発プロセスを一貫したコンセプトにより進めることができた。



◆利用された企業からの声



取締役 黒川 太一郎 氏

弊社は実店舗向け商品の開発を行っておらず、今回のような支援があったため、チャレンジする事ができました。

自社商品をどう見てもらいたいか、デザインによってユーザーがどのように変わっていくか、売り場のアプローチや販促ツールによって、どう結果が変わってくるかなど、商品を守る為の切り口を見出すきっかけになりました。大変満足しています。このような支援は中小企業にとって、大変必要な事だと思いました。

専門家によるコンサルティングで 首都圏に向けた市場開拓を支援

越前焼工業協同組合 酒器開発グループ

代表者名 司辻 光男
所在地 越前町
業 種 窯業
事業内容 越前焼の卸・販売

事業を活用した経緯等

同組合では、平成18年度に福井県工業技術センターと共同研究で開発した高強度の陶土を基盤に、様々な新商品の開発を進めていた。その中で首都圏への市場開拓を見据えて福井の地酒と共に越前焼の酒器を売り込む新たな切り口による酒器の開発に取り組むこととなった。

そのため、グループカウンセリング事業を活用して、ふくい食アンバサダーであり、トータル飲料コンサルタントの友田晶子氏を専門家として招き、酒器開発の指導を受けた。



活用内容

同組合のグループメンバーは、高強度の陶土を基盤にした薄作りの技術と、ワインソムリエ、日本酒ソムリエである友田晶子氏のノウハウを融合させた酒器の試作に取り組んだ。

友田氏からは、「酒器はお酒を呑むための単なる器ではなく、形や形状によって香りや味を増す事ができる器である。特に日本酒では、甘味を感じることに価値観を求める傾向が強く、平タイプの酒器は甘味を引き出すことができる。一方、ぐい呑タイプは辛みを強く感じる形状となっている。」などのアドバイスを受け、メンバーが各々の窯元の特長を活かした開発を進めていった。

こうして各社が酒器を試作、形状によって香りやコクを最大限に味わえるというワイングラスの長所と、和である土ものの風合いに、薄作りの口当たりの良さを併せ持った日本酒専用カップを新たに生み出すことができた。



◆利用された企業からの声



営業課長 大瀧 和憲 氏

今回の指導では、酒器には香りや味が増すための利にかなった形があることを学ぶことができました。今後は、越前焼の高強度の陶土の特長を活かし、この成果品を首都圏市場に向けて具体的に提案していきたいと思っております。

長年培ったノウハウを活かす 新たな販路開拓をサポート

株式会社シーウェーブ

代表者名 宇野 俊雄

所在地 越前市

業 種 金属製品製造業

事業内容 オリジナル超硬切削工具の製造販売。
輸入切削工具の卸販売

事業を活用した経緯等

同社は、エンドミルやメタルソー、ドリルなど超硬切削工具の開発、販売などを行っている。

近年、切削工具においても顧客からの要望が専門化、細分化しており、顧客ニーズへの的確な対応がとても重要なテーマとなっている。そのような中、同社では長年の切削工具開発で培ったノウハウを活かし、お客様のニーズに合わせた切削環境を提案している。

新技術・新工法展示商談会の対象となっている自動車関連分野は、産業のすそ野が広く素材なども多岐にわたっていることから、同社の技術提案による販路開拓の可能性があると判断し、展示商談会への参加を申し込んだ。



工場内写真
エンドミル等の刃付け加工

活用内容

新技術・新工法展示商談会に、平成18年度以降、連続して参加、加工工程やリードタイムを短縮できる独創的な切削工具の開発・提案に努めている。

面談した企業の製造現場へ出向き、切削工程で抱えている問題点を洗い出し、さらに加工機械や治具、切削油など周辺環境も把握しながら、問題点を解決できる最適な工具等を提案している。

生産性の向上につながる提案をする切削工具メーカーとしてネームバリューも上がってきている。



メタルソー各種

◆利用された企業からの声



代表取締役社長 宇野 俊雄 氏

新技術・新工法展示商談会に参加して期待していることは、大手企業の方々と直接コミュニケーションができることです。

メーカー様は、技術課題を解決するための相談相手を求めていますし、また私どもとしても、お客様の課題をいただけるというメリットがあります。今後も同展示商談会の開催に期待をしています。

研究開発共同体による製品の事業化を目指した研究開発の支援

松文産業株式会社

代表者名 小泉 信太郎
所在地 勝山市
業 種 合繊織物製造業
事業内容 各種衣料用織物の企画・製造・販売、産業資材の製造

事業を活用した経緯等

同社は、新規の機能性織物の開発に積極的に取り組んでいる老舗の織物製造メーカーである。

福井県工業技術センターが太陽電池を搭載した糸の製造に関する研究を行っていることを知り、研究開発共同体の一員となって、この特殊な糸の製織技術の開発に取り組むこととなった。また、事業化を目指した研究開発には大きな費用がかかるため、同社がこのプロジェクトの代表となって、経済産業省の競争的研究資金である戦略的基盤技術高度化支援事業に応募することとなった。

この事業では、プロジェクトの研究開発と経理事務をとりまとめる事業管理機関が必要であるため、当センターに相談があった。

活用内容

本事業では、委託契約に始まり、経理処理ルールに基づいた経費の執行、研究の進捗管理と報告など、事業の遂行に必要な事務処理や調整が求められるが、当センターが中立的な立場でそれらの取りまとめを行ってプロジェクトの運営をサポートしている。

今後、本プロジェクトでは、研究開発による成果を利用した製品の事業化を進めていく予定である。



1mm前後の大きさの球状太陽電池



太陽電池を搭載した糸
球状太陽電池と金属繊維を接合



展示会に出展した試作品
左図の糸を織物にしたもの

◆利用された企業からの声



勝山工場 機能資材部 部長 吉岡 隆一 氏

委託元である経済産業省との連絡調整をはじめとし、研究開発共同体内の連絡調整も安心して任せられることから、研究開発に注力することができています。3年計画の本プロジェクトは、平成26年度が最終年度となりますが、研究開発を進めて、最終的には研究成果を利用した製品の事業化に取り組んでいきたいと思っています。

勝山の新名物グルメづくり 地元飲食店有志の活動をサポート

勝ち山Bokkake連盟

代表者名 榊家 次郎

所在地 勝山市

業種 飲食業

事業内容 勝山の新名物グルメ「勝ち山Bokkake (ボッカケ)」の開発・拡販

事業を活用した経緯等

人口減少による市場縮小が進む勝山市は、一方で県立恐竜博物館への観光客が順調に増加しているものの、地元飲食店はそのニーズに応えられておらず、結果として観光客にも不便を与えている。そこで、まちなかの飲食店有志が集い、観光客向けのランチを開発することで観光需要を取り込み、観光地としての「おもてなし力」向上とまちなか飲食店の売上アップを目指すことになった。

これまでに経験の無いプロジェクトに取り組むことから、「企業診断・コンサルティング」を活用し、観光事業やプロジェクト運営のアドバイスを受けることとした。

活用内容

市内で洋風居酒屋を営む(有)厨ぼうずが代表となり、当センターの中小企業診断士をプロデューサー役、勝山商工会議所を事務局とし、地元飲食店メンバーを募って「勝ち山Bokkake (ボッカケ) 連盟」を立ち上げて活動開始。披露宴の締めなどとして食べられてきた勝山の郷土料理である「ぼっかけ」をファミリー客向けにアレンジした「勝ち山Bokkake (ボッカケ)」を各飲食店が腕を振るって開発。料理専門家等を招いた試食品評会でのブラッシュアップも経て、市内十数店で販売を開始した。県内マスコミの注目も集め、恐竜博物館前でのチラシの配布、市内外のイベントへの出店などにより知名度を向上させ、事業開始一年目で新しい名物グルメとしての足がかりを築いた。



〈元祖ぼっかけ〉



〈勝ち山Bokkakeの一つ「恐竜ボッカケ」〉

◆利用された企業からの声



代表取締役 榊家 次郎 氏

観光事業への参入という面だけではなく、勝山の歴史・文化・風土についても学ぶきっかけとなり、改めて郷土料理の伝承の大切さに気付きました。この気付きを広め、「ぼっかけ」を名物料理として地域ブランド化し、地域の活性化と売上増加につなげていきたいと考えています。

経営革新計画の承認を受け、 地域の高齢者へ食事処を提供

株式会社ケア・フレンズ

代表者名 脇屋 和美

所在地 福井市

業種 老人福祉・介護事業

事業内容 小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援、訪問看護、訪問介護等

事業を活用した経緯等

同社は平成12年に設立し、福井市内において訪問系介護サービスを始め、その後は小規模多機能型居宅介護事業や障害者自立支援事業など事業の幅を広げてきた。

その経験の中で、高齢者の困りごとは食事に起因することが多く、また地域には高齢者が気楽に集える場所が少なく、不安や孤独感を抱えていることも多いことがわかった。そこで、同社の主要な事務所兼施設を新築移転することに併せ、施設の一部を食事処として地域の高齢者等に開放し、飽きのこない美味しく健康的な家庭料理を安価に提供すると同時に、地域の人々とコミュニケーションを図れる場を提供することを計画した。

また、市内には厨房のない通所介護事業所等も多いため、当社が培ってきた高齢者向け食事を調理するノウハウと新たな施設の厨房を活かし、それらの事業所に食事を配達する事業も併せて実施するという経営革新計画の策定に取り組むことにした。



活用内容

同社は、平成25年度に県から経営革新計画の承認を受けた。同計画の承認申請に向けて、当センターは事業計画の整理方法や申請書作成における留意点等の助言を行うなど、経営革新計画の策定をサポートした。

現在、同社は計画に基づき、新たな事業に積極的に取り組んでおり、平成26年3月には事務所兼施設『まちよか』をオープン。利用客は徐々に増えてきている。

今後は、食事処の新メニュー開発と並行して、地域住民へのアンケート等の実施により、更に利用しやすい施設を目指すほか、食事の配達先である通所介護事業所等の開拓などを進めていく予定である。

◆利用された企業からの声



代表取締役 脇屋 和美 氏

経営革新計画の承認を受ける過程で、経営上の専門的なアドバイスを受ける機会に恵まれ、これまでの事業の見直しと共に今後の事業展開を具体的にイメージすることができました。また金融機関からの融資もスムーズに進みました。

今後も地域のニーズに耳を傾け、地域福祉の拠点となるよう努力を続けて参ります。

さまざまな事業で幅広くサポート ネットショップの運営に手ごたえ

樹ごころ工房

代表者名 安井 正樹
所在地 福井市
業 種 製造業
事業内容 木製家具の製造販売

事業を活用した経緯等

同社は、自社で製造した木製家具をウェブサイトをとおして販売している。近年では、ロッドスタンド（釣り竿の収納家具）に力を入れているが売り上げが伸び悩んでいた。

また、これまでネットショップの運営も行っていた安井正樹代表が制作に専念するために、店長業務を娘の愛さんに任せたいと考えていたことから、ネットショップ運営のノウハウを習得するため、当センターを利用することとなった。



活用内容

当センターの研修等により、ネットショップの基礎知識から運営実務までを学んでいただくとともに、専門家を派遣し実務について指導を行った。

■ 情報化人材育成事業、セミナー等開催事業

ふくいeビジネス道場や、デジカメ撮影講座などを受講することで、幅広い知識とノウハウを習得。

■ Eビジネス拡大強化事業（ネット通販・取引支援センター）

ネットショップのコンセプト確認や今度の方向性についてのアドバイス、専門家の紹介を実施。

この他、同社は、ネット通販・取引支援センターで紹介した県のEC専門家派遣事業を利用して約5ヶ月、合計10回、専門家からの指導を受け、販売ページの改善に取り組んだ。



同社のホームページ

◆ 利用された企業からの声



代表取締役 安井 正樹 氏
店長 安井 愛 氏

一連のご支援のお陰で、当社のネットショップもなんとかやっけていける手ごたえを得ることができました。これからは自分の力で伸ばしていかなければなりません。今回教わったことを生かしてがんばっていきたいと思います。また何かあったらお世話になるとは思います。その時にはよろしくお願ひ致します。

開発拠点として県産業情報センターに入居し、注目のアプリを開発するなど活躍中

事例
17

LOCCIO (ロクシオ)

代表者名 上坂 哲教
所在地 坂井市
業 種 情報サービス業
事業内容 モバイル端末向けアプリケーションの作成



事業を活用した経緯等

大阪のITベンチャー企業でプログラマーとして活動していたが、地元福井に戻り携帯サイト運営事業に携わった後起業し、当センターのインキュベートルームに入居した。

活用内容

インキュベートルームで3年間活動した後、技術開発室に転居。最近では、入居者のリーダー格として活躍している。

また、当センター主催のふくいご当地アプリ開発プロジェクトにも積極的に参加し、平成25年度、同事業のハッカソンで自ら制作した「ふくいツアーアテンド」が、「福井県Webアプリコンテスト」にて、最優秀賞を獲得した。また、県外のビジネスモデルコンテストでも受賞するなど、県内外でその技術力、アイデアの発想力を高く評価されている。



事例
18

コルネ株式会社

代表者名 南部 正光
所在地 坂井市
業 種 情報サービス業
事業内容 WordPress用公式プラグインWelcart開発
WordPressを使ったサイト構築



事業を活用した経緯等

平成24年、県内のIT企業から独立。起業を機に当センターのインキュベートルームに入居した。

活用内容

同社の主力商品は、WordPress用公式プラグイン「Welcart」。同ソフトは、日本初のショッピングカート公式プラグインとして、累積ダウンロード150,000回以上、3,000サイト以上のインストール実績を誇っており、全国的にも注目を浴びている。

同ソフトは無料でダウンロードできるが、自社用のカスタマイズなどの案件が多く寄せられており、同社はWordPressを使ったサイト構築案件に特化して業務を展開している。



県外出身者も含めた人材育成に 研修室や宿泊施設を有効活用

株式会社ふじや食品

代表者名 白崎 弘康

所在地 越前市

業種 食品製造業

事業内容 玉子豆腐、茶碗蒸し、その他チルド食品の製造

事業を活用した経緯等

同社では、本社・工場と関東工場及びグループ工場（九州）で毎年、大卒・短大卒・高卒を含め新入社員を採用している。入社前には外部講師による二日間の新入社員研修を自社内で実施していたが、県外出身者は前泊する必要があるなど負担が大きかった。

そこで、地理的環境に恵まれ、研修施設とともに宿泊施設も充実している中小企業産業大学校を利用して、研修を行うことになった。

活用内容

毎年約20名で行う新入社員研修を、平成22年より継続して大学校で実施している。平成26年は、グループ活動にも利用可能な設備に改装となった特別研修会議室で、2日間集中して研修に取り組むことが出来た。

宿泊施設は、新入社員同士のコミュニケーションの場となり、同期の仲間意識の醸成が図られるとともに、食堂も先輩社員との懇親会会場として使用するなど、大学校の各施設を有効活用した。



◆利用された企業からの声



取締役総務部長 青柳 隆治 氏

施設職員の方々の利用者への心配りは、利用者にとって大変助かり感謝しています。県外出身の受講者は、福井県が初めての者がほとんどであり、当施設での宿泊研修は福井の印象として残るものと思います。

事例企業が活用した事業のご紹介

本誌で紹介している企業が活用した事業について、概要を紹介します。
事業の詳細については、当センターのHPでご確認いただくか、
各担当部署にお気軽にお問い合わせください。

ふるさと企業育成ファンド

平成23年度に、ふるさと産業の元気再生を図ることを目的として、県内金融機関と県が協力して「ふるさと企業育成ファンド」を創設しました。その運用益により、県内中小企業の新分野展開を支援する「新分野展開スタートアップ支援事業」と、県内企業への技術系人材の就職を促進する「ものづくり人材育成修学資金貸与事業」の2つの事業を実施しています。

本事業は、平成23年から10年間継続して実施する事業です。

新分野展開スタートアップ支援事業（助成金）

募集期間

毎年4月下旬～5月

対 象

福井県内に主たる事業所を持ち1年以上の事業実績があり、過去3年間の平均または前事業年度の売上額が年間10億円未満の中小企業者・個人事業者・事業協同組合

対象事業

既存事業の経営資源を活用した経営の多角化や事業転換を行う取組み

助成率および助成額

新商品開発、施設・設備、販路開拓にかかる費用

◆ 助成率 2/3以内

◆ 助成額 100万円～1000万円

助成金の応募から採択までの流れ

①事業実施計画書の作成（助成対象事業者）

②審査・採択（支援センター）

④助成金交付（支援センター）

③事業の実施（助成対象事業者）

ものづくり人材育成修学資金貸与事業

募集期間

毎年4月～5月

対 象

全国の理工系大学院生

対象事業

県内のものづくり企業に就職を希望している学生への修学資金貸与（6万円/月）

修学資金貸与の概要

- ◆ 大学院終了後、福井県のものづくり企業に7年間勤務した場合、返済を全額免除
- ◆ 他の奨学金との併給可
- ◆ 本人や親の収入による支給制限なし

ふるさと企業育成ファンドのこれまでの実績

（資）開花亭	「浜町」のイメージアップと料亭「開花亭」の全国発信につながる新ブランドの構築と物販店舗の設置
福井小松フォークリフト㈱	対人対物接触事故回避支援システムの開発
（株）福井洋傘	集約型生産体制に基づく木製部品製造・販売
（株）谷口工務店	廃瓦等を再生（リサイクル・リユース・リデュース）利用した新規格3Rブロック「TK・エコブロック」の開発・製造・販売事業
清水産業（株）	高機能合成潤滑剤・グリースの開発および製造販売事業
（有）街の牛乳屋さん	牛乳屋さんだからできる朝一番の食品宅配サービス
（株）中島機械	防草シート固定用プラスチック杭の製造販売
（株）サカエマーク	多品種小ロットのパッケージ作りの仕組みを構築し、福井県ものづくり企業のサポート体制を確立し、受け身型企業から発信型サービス業への転換を行う事業
（株）協立技術工業	ドライアイス洗浄装置（液化炭酸ガス方式）販売
（有）ブイ・アイラボ	CAD・CAMを用いた最新歯科技工ネットワークづくり

ふくいの逸品創造ファンド

県内の企業等が取り組む地域資源を活用した商品開発や販路開拓事業について、その費用の一部を助成します。

対象者

福井県内に主たる事業所がある中小企業・個人事業者・農業協同組合・LLP等

助成率および助成限度額

市場調査・商品開発・販路開拓にかかる費用

！活用ポイント

- 県外に売っていける商品開発を目指す企業のための助成金です。
- 事業実施期間は原則12ヶ月以内ですが、特に必要性が認められる場合には24ヶ月以内で設定することができます。
(繊維連携は最長12ヶ月以内)
- 職員が事業計画の磨き直しを支援いたします。



恐竜ブランドビジネス化支援

対象事業

福井の観光資源としてを全国からも注目度の高い「恐竜」を活用した、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円



スポーツ・医療関連分野展開による新事業創出支援

対象事業

「ふくいの強み」を活用して、スポーツ・医療関連分野での顧客の獲得を目指す新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円



新たな土産品開発による『おもてなし』支援

対象事業

「ふくいの強み」を活用して、『おもてなし産業』への展開を図るための新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円

地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

(一般・嶺南企業特別支援)

対象事業

「ふくいの強み」を活用した、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 1/2以内
- ◆ 助成限度額 500万円
- 販路開拓にかかる費用のみ
- ◆ 助成率 1/2以内
- ◆ 助成限度額 200万円

地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

(ふくいの産業遺産・手しごと承継)

対象事業

福井県が認証する「ふくいの手しごと」により、「ふくいの強み」を活用して、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円



地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

(事業承継支援)

対象事業

事業歴1年以上の中小企業者から、事業資産の譲渡等により事業基盤の全部または一部を承継する際に、「ふくいの強み」を活用して、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 500万円



地域資源を活用した新商品開発・販路開拓支援

(海外展開支援)

対象事業

海外市場への進出を目指して行う際に、「ふくいの強み」を活用して、新商品・新サービスの開発から販路開拓までの事業化に向けた取組み

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円



「企業連携」による産地競争力強化モデル (繊維・眼鏡・伝統工芸品・農商工・小規模企業連携)

以下の5種類があります。

- ◆ 企業連携による繊維産地競争力強化モデル事業
- ◆ 小売店との連携による福井ブランドめがね販売モデル事業
- ◆ 伝統工芸品産地連携による販売モデル事業
- ◆ 農商工連携による産地競争力強化モデル事業
- ◆ 小規模企業連携事業

- ◆ 助成率 2/3以内
- ◆ 助成限度額 600万円
- ※小規模連携事業は助成限度額300万円

お問い合わせ先

ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 総合相談・創業支援グループ

TEL 0776-67-7400 FAX 0776-67-7429

デザイン支援

売れる商品開発や販売促進、店舗設計など、マーケティングの重要な要素としてのデザイン支援について、経験豊富なデザイナーが実践的指導、助言を行います。

デザイン専門職員による適切な事業マッチング

デザインを活用して経営の向上を図りたい



① デザイナー派遣

デザインを生かした取り組みを目指したい



② グループカウンセリング

県内のデザイナーの情報が知りたい



デザイナーバンク

県内の登録デザイナーの情報がご覧になれます。

開発商品のデザイン評価を得て新規販路開拓を行いたい



③ ふくいプロダクト販路開拓支援事業

マーケッターやデザインディレクターがデザイン評価を行うとともに、開発商品に見合った販路の指導が受けられます。

① デザイナー派遣

商品開発のデザイン、販売促進のデザイン、展示会の企画デザインなど、様々な分野で活躍するデザイナーをニーズに合わせて派遣します。

対象 デザインを活かした経営の向上を目指す県内中小企業等

費用 具体的な指導を行う費用として、デザイナー謝金がかかります。

1回36,000円のうち18,000円が企業負担となります。

※一部、企業負担となる経費があります。
※負担金額等は変更になる場合があります。

利用回数 1企業あたり10回まで。(件数に制限があります)
※ご利用できない場合があるので、事前にご確認ください。

！活用ポイント

- 経験豊富なデザイナーの指導を受けて、自社では困難な商品企画やデザイン開発などの課題が克服できます。
※新商品開発の際には、商品企画の段階からのご活用をお勧めします。
- 少額の費用負担で専門的なアドバイスが受けられます。

② グループカウンセリング

団体、企業グループを単位として、県外の第一線で活躍するデザイナーから、最新の市場動向やヒット商品動向などの情報を聞いたり、共通するデザイン面での課題についてアドバイスを得たりする事ができます。

対象 デザインを活かした取り組みを目指す県内組合・団体、企業グループ（中小企業を含む3社以上）等

費用 無料 ※デザイナー謝金、旅費の全額を当センターが負担します。
ただし、企業の方の旅費およびその他の実費は自己負担となります。

利用回数 1グループあたり2回以内（県外デザイナーの指導が前提です。）

お問い合わせ先

ふくい産業支援センター デザイン振興部
TEL 0776-55-1756 FAX 0776-55-1759

新技術・新工法展示商談会

福井県の先端技術や繊維、眼鏡等の産業が培った特色ある優れたものづくり技術を、県外大手製造メーカー向けに一堂に展示する取引商談会を開催します。

平成26年度 (株)クボタ

日程	平成26年11月頃 (1日間)
商談対象	(株)クボタの開発部門および調達部門等(株)クボタ関連企業
会場	(株)クボタ クボタサービスセンター(大阪府堺市)
募集対象	商談先の企業に対して、従来の技術や工法と比較して優位性のある新技術・新工法を提案できる県内企業または、将来、開催企業関連業種への応用技術や開発テーマを提案できる企業等
出展料	3万円

！ 展示商談会出展のメリット

- 単独ではアプローチがしづらい大手企業に対して、展示商談会を通して取引のきっかけづくりができます。
- 産業機械分野メーカー等のニーズを知ることができ、異分野展開等の手がかりをつかめます。 など

応募企業の技術をどのように産業機械分野にアピールできるか、プロジェクトマネージャーや職員等と一緒に考え、効果的なマッチングをお手伝いします。

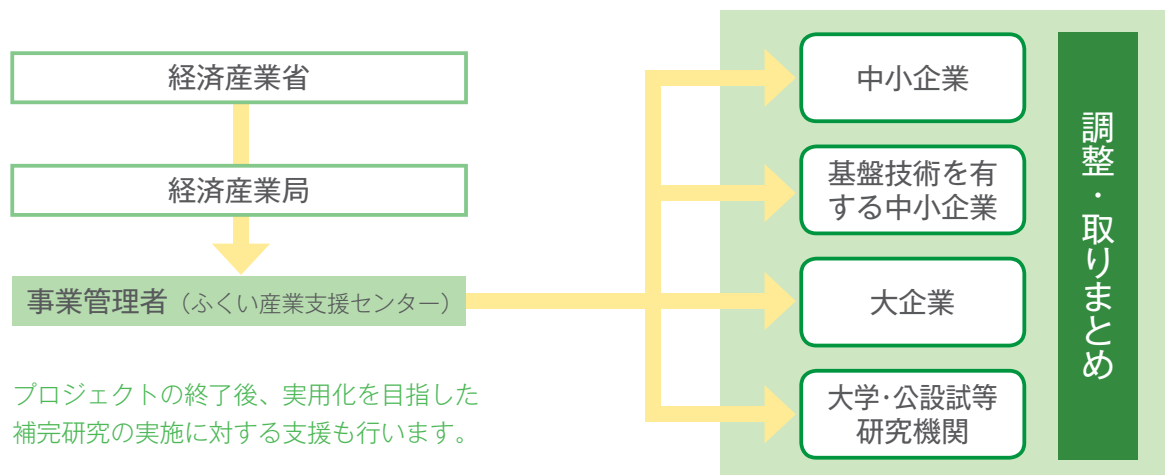
問い合わせ

ふくい産業支援センター 技術開発部
TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1554

ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 販路開拓営業グループ
TEL 0776-67-7407 FAX 0776-67-7419

戦略的基盤技術高度化支援事業 経済産業省

中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律の認定を受けた研究開発共同体の研究開発からその試作までの取組みについて、事業管理機関として支援を実施しています。



最近の研究テーマ (平成24~26年度実施)

- CNT複合めっきによる次世代ソーワイヤの実用化
- 太陽光発電可能な次世代膜構造建築物を実現する発電テキスタイルの開発
- 立体構造体形状で織り上げる、炭素繊維織物の開発

お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 技術開発部
TEL 0776-55-1555 FAX 0776-55-1554

企業診断・コンサルティング

従業員意識調査等による「簡易診断」、全社的な現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行う「企業診断」、課題克服や改善策の実行をサポートする「コンサルティング」を行います。

企業診断

- ◆ 現状分析 外部・内部環境分析、SWOT分析
- ◆ 課題の整理・抽出 事業・組織・財務・教育など
- ◆ 戦略案の策定・課題解決策の提案

コンサルティング

- ◆ マーケティングや生産性向上などの課題解決をサポート
- ◆ 人事制度・教育制度づくりやリーダー育成プログラムの実践など、組織づくりをサポート

！活用ポイント

- 個々の状況に応じた、多岐にわたるオーダーメイドの支援を受けることができます。
- 問題解決に向けて、継続的なフォローを受けることが可能です。

※企業診断には、応分の自己負担をお願いしています。

ご相談に応じてお見積りいたします。

経営革新承認支援

福井県の経営革新計画の承認のために、計画書の作成支援を行っています。

経営革新とは？ ※「中小企業新事業活動促進法」より

経営環境の変化に対応し将来にわたって企業を発展・成長させていくため、「事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ること」です。

新事業活動とは？

4つの新たな取り組みのことをいいます。

- ① 新商品の開発または生産
- ② 新役務の開発または提供
- ③ 商品の新たな生産または販売の方式の導入
- ④ 役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動

経営の相当程度の向上とは？

次の2つの指標が計画期間である3～5年で一定以上向上することをいいます。

計画終了時	「付加価値額」または「1人あたりの付加価値額」の伸び率	「経常利益」の伸び率
3年計画の場合	9%以上	3%以上
4年計画の場合	12%以上	4%以上
5年計画の場合	15%以上	5%以上

経営革新の承認を受けると、計画期間中、次のような支援策を受けることができます。

- 信用保証の特例 ①普通保証等の別枠設定 ②新事業開拓保証の限度額引き上げ
- 特許関係料金減免制度 ● 県の制度融資や政府系金融機関による低利融資制度 ● その他

お問い合わせ先

ふくい産業支援センター ふるさと産業支援部 経営革新・コンサルグループ
TEL 0776-67-7424 FAX 0776-67-7429

ネット通販・取引支援センター 場所：福井県産業情報センター

窓口での相談対応、専門家の派遣、書籍等による情報提供、セミナーや研修の開催をとおして、ネット通販などインターネットを活用して販路拡大を目指す県内企業を支援します。

主な事業内容

窓口相談

「これから始めたい」「もっと売上げを伸ばしたい」など、ネット通販・取引に関する相談に対応します。

専門家派遣

企業のネット通販等に関する課題を解決するために必要な専門家を派遣します。制作会社等のマッチングも支援します。

情報提供（資料コーナーの運営）

ネット通販やマーケティング等に関する書籍・雑誌・DVD(2,000冊以上)の閲覧・貸出を行います。

セミナー等の開催

ネット通販サイト運営ノウハウのセミナーや、ホームページ制作に関するセミナー、研修を実施します。



お問い合わせ先

ふくい産業支援センター ネット通販・取引支援センター
TEL 0776-67-7428 FAX 0776-67-7439

福井県産業情報センター入居施設

情報産業の育成と中小企業の情報化支援を目的とした施設です。イベントホールや会議室のほか、IT研修用のパソコン実習室、IT関係の創業間もない企業を対象としたインキュベートルームなどの貸出施設があり、企業の情報化の促進やITを使ったビジネス展開等にご利用いただけます。

※福井県産業情報センターは福井県が設置し、指定管理の指定を受けた当センターが管理運営を行っており、今年、運用開始から20周年を迎えました。



20周年記念ロゴマーク

入居施設（インキュベートルーム、共同研究室）

ITを活用した創業や新規事業に取り組む方に事務所スペースを提供します。

特徴 敷金不要・礼金不要・共益費不要・高速インターネット環境完備

インキュベートルーム 8室 ※ m²単価820円、坪単価2,706円

<タイプA> 7室 広さ27.13m² (8.22坪)

<タイプB> 1室 広さ26.60m² (8.06坪)

共同研究室 2室 ※ m²単価820円、坪単価2,706円

<タイプA> 1室 広さ36.47m² (11.05坪)

<タイプB> 1室 広さ59.74m² (18.10坪)



お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 販路開拓支援部 Eビジネス支援グループ
TEL 0776-67-7416 FAX 0776-67-7439

福井県中小企業産業大学校施設

中小企業の人材育成を行うことを目的とした施設です。大学校主催の人材育成研修だけでなく、企業や団体が行う研修、社内会議・ミーティングの場としてもご利用いただけます。また、宿泊施設も併設していますので、長時間・長期研修の開催も可能です。

企業内研修・社内会議・宿泊研修の場をご提供します

快適な環境でご利用いただけます

- 108名から少人数（2～6名）まで多種類の会場を用意
- 宿泊施設・体育館を併設、目的に応じた幅広い活用が可能
 - ・ 宿泊型の長時間研修が開催可能です
 - ・ 60名収容のお食事スペース完備。研修後の懇談会やレクリエーションへの移動も不要です
 - ・ 宿泊室A（ツイン22室）と宿泊室B（シングル1室）はもとより、和室タイプの第2会議室のご利用を合わせて、最大51名までご宿泊いただけます
- ブロードバンド（光ファイバー）に対応
 - ・ 無線LANインターネット環境を整備
 - ・ 教室・宿泊室…最大100Mbpsの高速インターネットが無料で利用可能
※無線LAN対応のコンピュータをご持参ください。
- 共用駐車場を含む最大430台分の無料駐車場を完備
施設の空き状況確認からお申し込みまでの一連の手続きが、インターネットでできるようになりました。ぜひご利用ください。

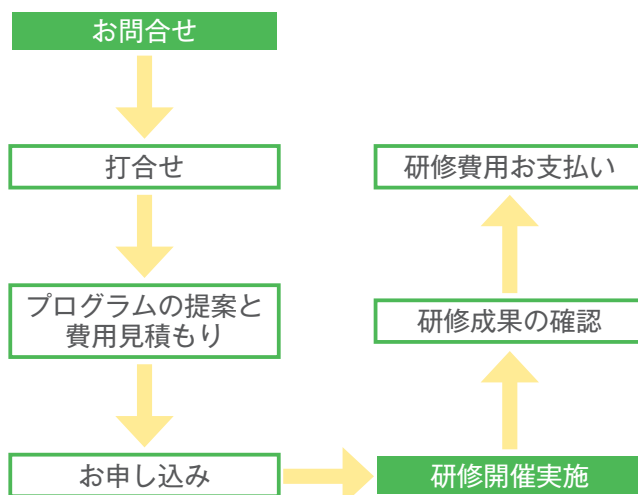


【福井県中小企業産業大学校施設予約システム】 <http://fiib.jp/>

オーダーメイド研修

社員研修や組合員研修など、独自の教育計画を希望される企業、団体をサポートします。直面している課題やこれからの問題について、実施したい研修内容をお聞きしながら、研修テーマを設定し、予算やスケジュール等に応じたオーダーメイド型のプログラムをご提案します。

ご利用の流れ

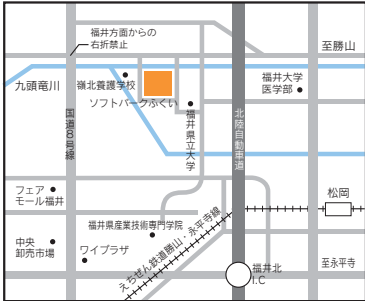


サポートの実例

営業基礎研修 ○1日 ○13名 ○建設工事業 ○営業部門社員	改善・不良対策研修 ○1日 ○14名 ○製造業 ○生産部門のリーダー
マネジメント研修 ○2日 ○20名 ○プラント保守業 ○管理職	ビジネスマナー研修 ○1日 ○33名 ○観光業 ○全社員
リーダーシップ研修 ○6日 ○20名 ○運送業 ○リーダー候補者	繊維基礎研修 ○6日 ○100名 ○製造業 ○全社員

お問い合わせ先

ふくい産業支援センター 人材育成部（中小企業産業大学校）
 TEL 0776-41-3775 FAX 0776-41-3729



ふるさと産業支援部／販路開拓支援部／総務部

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 (ソフトパークふくい 福井県産業情報センタービル内)
 TEL:0776-67-7400 (代表) FAX:0776-67-7429
 E-mail:info@fisc.jp URL:http://www.fisc.jp/

交通アクセス

【バス】 ■福井方面からお越しの方

- ・京福バス 大学病院線新田塚線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 10 番)
- ・京福バス 大学病院線中藤線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 11 番)
- ・京福バス 大学病院線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 11 番)

■丸岡方面からお越しの方

- ・京福バス 丸岡永平寺線 (本丸岡バス乗り場 3 番)

■松岡方面からお越しの方

- ・京福バス 丸岡永平寺線 (松岡駅バス乗り場)
 ※いずれも「県立大学」下車 徒歩約 5 分 (所要時間 約 20 ～ 50 分)

【乗用車】

- ・JR福井駅より約 30 分
- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約 5 分
- ・北陸自動車道「丸岡I.C」より約 20 分



人材育成部

〒918-8135 福井県福井市下六条町16-15 (福井県中小企業産業大学校内)
 TEL:0776-41-3775 FAX:0776-41-3729
 E-mail:manabi@fisc.jp

交通アクセス

【バス】

- ・京福バス 羽水高校線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 9 番)
- ・京福バス 西大味線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 9 番)
 ※いずれも「県産業会館・厚生病院」下車 徒歩約 2 分

【乗用車】

- ・JR福井駅より約 15 分
- ・北陸自動車道「福井I.C」より約 20 分



技術開発部／デザイン振興部

〒910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北福田10 (福井県工業技術センター内)
 【技術開発部】
 TEL:0776-55-1555 FAX:0776-55-1554 E-mail:fstr@fisc.jp
 【デザイン振興部】
 TEL:0776-55-1756 FAX:0776-55-1759 E-mail:dcf@fisc.jp

交通アクセス

【電車】

- ・JR北陸本線 春江駅より徒歩約 25 分
- ・えちぜん鉄道 三国芦原線 鷺塚針原駅より徒歩約 15 分

【バス】

- ・京福バス 運転者教育センター線 (JR福井駅前 市内バス乗り場 10 番)
 「つくしの団地」下車 徒歩約 3 分

【乗用車】

- ・JR福井駅より約 20 分
- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約 25 分
- ・北陸自動車道「丸岡I.C」より約 20 分

【飛行機】

- ・小松空港から連絡バスでJR福井駅まで約 60 分
 JR福井駅から路線バスをご利用ください。